広　　報　　費

支払日	内　　容	金　額（円）	領収書No.
1/29	会派広報印刷発行費	517,585	19
	計	517,585　円	

合　計	517,585 円

領収書貼付用紙（研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報費・その他　）

貼　　付　　欄	領収書No.
	19

領　収　証

No.　051302

自由民主党 周南　　御中

2024 年　1 月　29 日

金　額	￥517,585-

但し、チラシ印刷折込代金として
上記の通り、正に領収いたしました。

200 [redacted]

＜内訳＞

品　　名	税率	税込金額	消費税額
チラシ折込代	10%	517,585	47,053

株式会社　新周南新聞社 [redacted]
周南市栗屋二葉屋開作1035-[redacted]
〒 745-0802　　電話 [redacted]
FAX [redacted]

"19"の参考添付

請求書

NO.　11280002

〒745-0071
周南市岐山通1-1
周南市役所　議会事務局内

自由民主党 周南 御中

株式会社　新周南新聞社 [redacted]
〒 745-0802
周南市栗屋二葉屋開作1035-18
代表取締役社長 中 島 [redacted]
ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ 0120-494-689
TEL 0834-26-0303
FAX 0834-26-0155
登録番号 T7250001008886

[redacted]

〈振込の際のお願い〉
振込手数料は貴社ご負担にてお願い申し上げます。
お振込みの際に、請求書の宛名とお支払い名義が
異なる場合は、当社経理までご連絡ください。

お支払予定日	今回御請求額
2024/02/29	517,585

月日	伝票番号	商　品　名	数　量	単　価	御買上額	御入金額
01/23	004890	会派チラシ	35,710 枚	8.4	299,964	
		新聞折込代	32,410 枚	4.8	155,568	
		日刊新周南 折込代	3,000 枚	5.0	15,000	
		課税対象額　470,532 円	10 %	消費税等	47,053	
		《税率別税込合計》				
		（１０％　517,585 円 税　47,053 円）				

上記の通り御請求申し上げます。　　1頁

合　計	517,585	

篠田裕二郎（しのだゆうじろう）

これからの目指す 私の「4つのまちづくり」

① 高齢者にやさしいまちづくり

これから先、人口減少が続き少子高齢化社会となっていきます。
平均寿命が伸び、要介護者数が多くなる高齢化社会「介護難民」「老老介護」「介護人材不足」となります。この課題解決に取組むよう尽力いたします。

② 周南公立大学を活かしたまちづくり

令和6年4月より看護科を含む新設学科が増え定員増へ。本市の人口減少の打開策の1つと考えます。学生が増え、まちに賑わいが創出でき、そこに定住だけでも相当な経済効果が見込めます。「学生を活かしたまちづくり」を！

③ 動物にやさしいまちづくり

周南市は野犬のまちと言われます。そのイメージを払拭すべく、動物保護の観点より犬や猫と共存できるまちへ。補助金や制度の拡充、ふれあうイベント開催など取組み「動物にやさしい周南市」と呼ばれるまちづくりを目指します。

④ 防災・防犯に強いまちづくり

大雨による被害を受けた、市道遠石一の井手線の災害対策を早急に進める。
通学路のブロック塀倒壊を防ぐべく、除却・改修の補助金拡充を進める。
子どもたちの通学の見守りや整備を進める。「安心安全なまちづくり」

藤井市長・道源副市長へ「令和6年度の要望書」を提出しました

1. 機構改革（職員の適正配置等を含む）
2. 農林水産業の支援（農業関連予算の確保と林業水産業の後継者の確保）
3. 子育て世帯の支援
   - 高校生までの医療費完全無料化
   - 市役所から徳山駅周辺に一時預かり保育施設等の設置
4. 不登校児童生徒に対する支援
5. 人口増加が見込まれる地域でのインフラ整備（周南公立大学周辺および久米中央土地区画整理事業地周辺）
6. 大学を生かしたまちづくりの推進
7. 高校跡地の利活用についての推進
8. 企業誘致の促進
9. 市民センター建て替えの推進（今宿、秋月、岐山）
10. 市道遠石一の井手線の雨水問題の早期解決
11. 河川浚渫の予算確保
12. 市道の維持管理補修の推進

令和6年度要望書提出（2023.12.18）

会報 自由民主党周南

令和6年 正月号

令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。市民の安心安全のためにも防災に対し最良の取組を致します。

代表挨拶

新年明けましておめでとうございます。
私達会派は五人のメンバーで、若手とベテラン議員がスクラムを組み、一生懸命議員活動に取り組んでいます。会派では「すべては市民のために」を基本理念として、施策や現状そして今後将来のことを常に話し合っています。議会は最高議決機関として、行政（市）から出されるすべての議案に対し、市民のための最良の結果を出す大きな役割と責任を担っています。そのため議員は三六五日一日二四時間体制が基本となります。

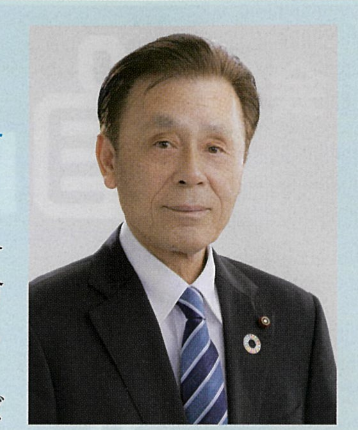
今、国は人口減少対策に力を入れています。地方自治体は現実論としてその施策を実行していかなければならず、周南市も現在「こどもまんなか社会」を標榜し取り組む状況です。また高齢化に対する施策や生活環境整備の予算、農林水産業、経済や教育、福祉そして脱炭素社会への対応など多岐にわたる取り組みは一つ一つの課題を解決しながら総合的に成果としての結果を出していかなければなりません。いま、待ったなしの状況の中、私達は最大限の努力をしてまいります。

「すべては市民のために！」

幸多き年となりますようにお祈りします。
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

自由民主党周南　代表　古谷幸男

古谷幸男（ふるたに ゆきお）



「大学を生かしたまちづくりの推進」

周南公立大学は今春、経済経営学部経済経営学科、人間健康科学部（スポーツ健康科学科、看護学科、福祉学科）、情報科学部情報科学科が増設され、総合大学として大きく進化しようとしています。約2千人の学生がいる「まち」は、すべてにおいて大きな相乗効果を生み、将来につながっていきます。

「大学を生かしたまちづくり」を現実のものとして取り組んでいかなければなりません。地方の大学の競争が激化している今、周南市はしっかりした土台を築いていくことが必要です。大学はわがまちの誇りであり宝です。

こども支援についても都市間の取り組みに格差が出ようとしています。周南市を子育て世代が安心して期待の持てる住みやすい街にしていかなければいけません。

委員長報告

一般質問

いま、待ったなしの状況の中、全てのまちづくりに最大限の努力をしてまいります。

なお昨年行いました一般質問の件名を報告します。

- 市民センターについて
- 鹿野観光交流拠点施設整備基本計画（案）について
- 徳山北部拠点施設整備基本計画について
- 本市の出資法人の経営並びに監査体制について
- エンディングプラン・サポート事業及び終活情報登録伝達事業について
- JR福川駅の整備について
- 移住定住促進について

田村勇一（たむら ゆういち）

「今、我々は何をすべきか」

周南市の緊急の課題は、急速な人口減少・少子高齢化に伴う人口構造の変化や、生産年齢人口の流出、特に若者の域外流出による人手不足等により、基幹産業はじめ歴史・文化を醸す地場産業が低迷しているのが現状です。

また、周南市全面積の656平方メートルのうち、森林が約75.2%、農地が約6.1%と、市域の約8割を占めており、中山間地域の高齢化や過疎化による労働力不足。漁業に於いても後継者不足等、課題が山積しております。

この難題に立ち向かうのが、行政であり議会です。全ての政策は費用対効果が求められ、いかに知恵と工夫を凝らし、あらゆる角度から研究し、議決しなければなりません。

その責務は重大です。そこでこうした難題に取り組む手段として、昨年発足した周南公立大学の【知】を生かし、地域の課題解決や活性化に向けた連携を図り、あらゆる分野において英知を出し合い、まちづくりを進めていきます。

また、公立大学の入学定員増加により、地域外の人材も受け入れられ、地域協力活動も行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域での生活や地域社会貢献に期待が持て、若い世代と地域のつながりが生まれます。

時代に生きる我々は将来に誇れるまちづくりを担う使命と責任があり、「高い理想と志」を持って育てることが大切と考えます。

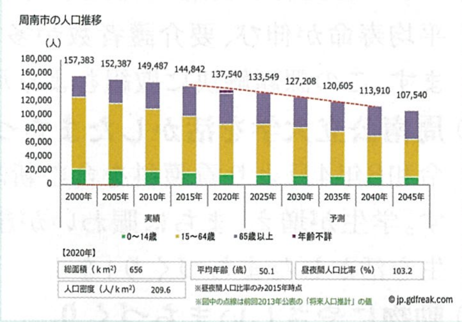
こどもも お年寄りも いきいき過ごせる まちに！

有田力（ありた ちから）

「人口減少に抗う…少子化対策 待ったなし！」

人口の減少・少子化の進行は社会保障制度の持続可能性や経済の先行き不安を助長しており、労働者不足による経済成長の減速、国内市場は縮小し、企業経営は追い込まれる。自治体にとっては、税収が減ることから公共サービスの維持が難しく、道路や水道が壊れても修理ができないなど今の便利な暮らしができなくなる可能性があります。

人口の減少を直ちに反転することは難しいが、できる限り早く少子化の傾向を転換した方が、将来の人口に影響を及ぼす効果が高く、遅れれば遅れるほど人口減少は加速していきます。

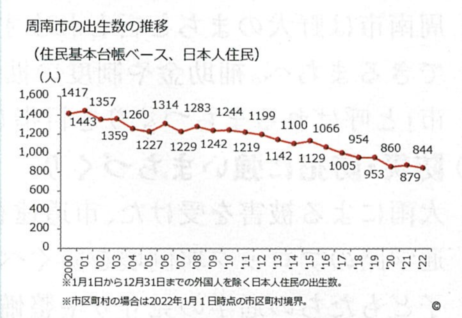


「時すでに遅し」であきらめて良いのか？ 「希望」の実現へ

結婚した夫婦の8割強は出産し、そこから約8割が第2子を出産することから、少子化対策には「出会いの機会」を提供し、「結婚」を支援し、母親となる人口を増やす。そして、経済的理由や生活環境で第3子、第4子をあきらめることが無いように支援する。それには児童手当、子どもの医療費の無償化や授業料免除など子育て支援を充実させ、なお且つ、出産祝い金など、多子世帯への支援を厚くし、産み育てやすい環境を整える必要があります。

併せて、人口減少対策には、企業誘致や産業の創出に取り組み、周南公立大学や徳山高専、市内の工業・商業系の高校などの学生・生徒の就業機会、定着定住に取り組むことも重要になってきます。

周辺の市より人口減少が急激に進む周南市の傾向を逆転し、笑顔あふれる楽しい賑やかな周南市を創造するために皆様と一緒に取り組んで参ります。



小林正樹（こばやし なおき）

「文化小ホール建設に向けて 基本構想・基本計画案策定スタート」

かつてあった周南市市民会館が担っていた文化の醸成を取り戻したい。私の揺るぎない思いであり、3年半前に掲げた公約の一つです。このたび、令和5年8月21日の全員協議会での発表を皮切りに文化小ホール建設に向けての議論が始まりました。私の考える最優先すべき機能を以下に述べます。

①市内どこからでも集いやすい立地とし、新たな交流が生まれる文化薫るまちづくりの拠点
②完全暗転できる演出の幅が広がる空間と余裕のある広い袖やバックヤード
③母子室設置やユニバーサルデザインに配慮する等、個々の事情で鑑賞を諦めることなく誰もが気軽に恩恵を享受できる設計
④部活動地域移行という難題に対し、地域クラブ醸成も視野に入れた幼保小中高大学生まで巻き込む教育に資する施設
⑤安価な使用料を実現し、表現活動の発展と多様性を育むことができる敷居の低い施設

コンパクトで濃密な空間だからこそ味わえる、舞台と客席が一体となったライブを多世代の方々に体感できる場所になって欲しいと心から願うとともに、文化に親しむ市民が輝ける場所となるよう、音楽・ダンス・お芝居に留まらず、カラオケ大会や自主製作を含む映画の上映会にコメディーショーまで楽しめるひときわ上質な空間となるよう、今後の動向に注視いたします。

現役パパが実経験を糧にさらに明るい未来を！